

川の水位

大雨の時には、川のそばに近寄らないようにしましょう。
川の水位が急に高くなることもあり、大変危険です。

市の発令情報
および行動

住民に求める行動

堤防

堤防

▽はん濫危険水位

洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫がある水位です。はん濫がいつ起きてもおかしくない水位です。

避難指示の発令

状況が更に悪化している場合、避難完了を求めるための情報です。

洪水の危険が迫っています。避難中の方は直ちに避難を完了して下さい。もし避難する余裕がなければ、生命を守る最低限の行動をとりましょう。

▽避難判断水位

洪水による災害の発生を特に警戒すべき水位です。市の避難勧告の目安とする水位です。

避難勧告の発令

災害発生の危険性が高まっている場合、避難開始を求めるための情報です。

お互いに助け合い、指定された避難所に速やかに避難を始めましょう。自動車での避難はやめ、できるだけ徒歩で避難しましょう。

▽はん濫注意水位

市の避難準備情報等の発令判断の目安で、住民のはん濫に関する情報への注意喚起や水防団の出動の目安となります。

避難準備情報の発令

災害発生の危険性が高まっている場合、避難準備を求めるための情報です。

いつでも避難出来るように避難準備をしておきましょう。また、避難に時間がかかる方は直ちに避難所へ避難して下さい。

▽水防団待機水位

水防団が出動の為に待機する目安となる水位です。

速やかに公民館等を避難所として開設します。危険を感じた人は、公民館に自主避難して下さい。

川の水位情報をこまめに確認しましょう。子供や高齢者、障がい者は、早めの避難が必要です。避難準備を始めましょう。

▽普段の水位



高砂市
関係河川の
水位情報

| 河川名 | 加古川 | | 法華山谷川 | 天川 | |
|---------|------|------|-------|------|------|
| 観測所名 | 国包 | 藍屋 | 魚橋 | 牛谷 | 天川 |
| はん濫危険水位 | 4.70 | - | 3.40 | 3.70 | 4.70 |
| 避難判断水位 | 4.30 | - | 3.02 | 3.37 | 4.20 |
| はん濫注意水位 | 2.50 | 2.90 | 2.20 | 2.50 | 2.50 |
| 水防団待機水位 | 1.50 | 2.00 | 1.50 | 1.70 | 2.00 |

各河川の水位は、「国土交通省川の防災情報」より確認が出来ます。大雨の時だけでなく、普段から水位がどのくらいか確認してみてください。

<http://www.river.go.jp/>



土砂災害

土砂災害とは

大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりすることによって、私たちの命や財産などが脅かされる自然の災害です。主なものとして、「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」などがあります。

兵庫県が公表している土砂災害危険・警戒箇所は、マップに表示していますので、大雨時などには近づかないようにしましょう。

土石流（土石流危険渓流）とは

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって、河川・溪流などを水と一緒に一気に下流へと押し流されるものをいいます。

がけ崩れ（急傾斜地・山腹崩壊）とは

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。

地すべりとは

地すべりは、特定の地質のところで粘土などのすべりやすい層の上部の土地が、地下水の影響を受け、ゆっくりと動きだす現象です。地すべりの動きが止まった後とは、地すべり特有の地形が形成されます。



こんな状況なら危険です

- ・強い雨が降り続けているとき
- ・雨が降り続けているにもかかわらず、溪流の水位が急激に減少し始めたとき
- ・木の裂ける音や、石が流れる音が聞こえるとき

こんな状況なら危険です

- ・長い雨、降り始めてから100mmを超えたとき
- ・地割れをみつけたとき
- ・土砂等がばらばら落ちはじめたとき

こんな状況なら危険です

- ・地面にひび割れが出来たとき
- ・樹木や電柱が傾くなどしたとき
- ・池や井戸の水が急に減ったり濁ったりしたとき

上記のような状況に遭遇した場合には、平地部分まで離れるようにしましょう。土石流の場合は、流路方向より直角に離れるようにしましょう。

